



ちょっとそこまで～お散歩日和(酒肴編)～



# 映画館で号泣

新作映画やTVドラマの宣伝なのでしょうが、「感動のあまり号泣」という言葉が安直に使われています。では、「号泣」とは何なのでしょう。改めてその意味まで考えたことはないはずですが。

号泣の「号」は会意文字で、口と丂(こう：口から息の出るさま)とから成り、痛み悲しむ声の意を表しています。別な解釈によると、この漢字は、生贄や刑罰により生き埋めにされた人間を表していると言います。口は大きく口を開けて泣き叫ぶ様子、下の部分は苦しみのあまり体を折り曲げている姿を現しているのです。

一方、「號」という漢字もあり、こちらは「号」に、さらに「虎(こ：トラ)」を加えて、トラのように大声で叫ぶ意を表していました。ところが、後にこの2文字は混用され、さらには「号」を「號」の略字と見なすようになって今日に至っているのです。



つまり、映画館で号泣するという事は、声をあげて泣き叫んでいることになります。似た言葉に「大泣き」がありますが、こちらも「激しく泣く」「大声で泣く」という意味になります。したがって、映画館という閉鎖空間で、感動のあまり大号泣してしまっただけは、大いなる迷惑行為に及ぶということになりますから、やめておいた方がよろしいでしょう。

「涙腺崩壊」という言葉もありますが、これは完全に病気です。それから、「全米が泣いた」というキャッチコピーもよく目にして、心惹かれますが、落ち着いて考えるとあり得ません。

では、実際にありがちな姿として、声を押し殺して涙を流すという状態は何と云えば良いのでしょうか。これは「嗚咽：むせび泣く」という表現がふさわしいように思います。または、「歔歔(ききょ)：すすり泣く」でしょう。どちらも声を出さずに静かに泣く様子を表現していますが、もしも違いに触れるとするならば、「むせび泣く」の方が涙の量が多めということになるのでしょうか。

ちなみに、「泣く」ことを意味する二字熟語を調べてみますと、次のようなものが見付かりました。

- ・涕泣(ていきゅう)：涙を流して泣く。
- ・嗚咽：むせび泣く。
- ・歔歔(ききょ)：すすり泣く。
- ・感泣：感動して泣く。
- ・鬼哭：浮かばれない死人の魂が泣く。
- ・号泣：大声を叫び泣く。
- ・慟哭：声をあげて嘆き泣く。
- ・哀哭：声をあげて悲しみ泣く。
- ・嗚呼(ていこ)：泣き叫ぶ。
- ・啼血：血を吐いて泣く。



印象としては、「号泣」よりもさらに上に行くのが「慟哭」なのではないでしょうか。そして、もっと上に行くのが「啼血」ということになりそうです。しかし、映画やドラマの宣伝として使うには、やや大げさ感が先走って嘘っぽく響きます。同じ嘘でも「号泣」が程よいとの判断なのでしょう。でも、使い方としては完全に実態に合わないことだけは知っておくべき言葉です。そういう意味では、タイトル通り「酒肴」にちょうど良い話題と言えるでしょう。

他にも、涕泗、涕洟、飲泣、哭泣、垂泣、啼泣、悲泣、流涕、泣哭、痛哭、啼哭、慟泣などがありますので、ご自身でお調べください。